

# 2018年度 センター試験英語 解答・解説および対策 ver.3

## ○センター試験講評

概論：総語数は昨年度より若干増加して約 4300 語。全体としては昨年度と同様に多めになっており、最近の英語読解問題の長文化を反映したものとなっている。マーク数は昨年度(55)より 1 個減り 54(第 3 問で 2 減って第 4 問で 1 増えたため)である。大きな変化としては、昨年度は A、B、C の 3 つの問いから成っていた第 3 問が A、B の 2 つに減ったことと、ここ 2 年は物語の内容を読み取る形式の問題だった第 5 問が、今年度は日誌の抜粋(8 日分)を読み取る形式の問題へと変更していることである。第 5 問に関しては 2014 年度(イラスト選択の問題)、2015 年度(E メールの情報を読み取る問題)、2016 と 2017 年度(物語を読み取る問題)と、頻繁に問題形式を変えているので、センター対策を行う際には複数年度の問題(可能ならば追試も)に触れておくことが重要となるだろう。やや小さな変更点としては第 4 問の設問 B の問題数が 1 つ増えて 4 問になったことなどであるが難易的にはあまり変化は見られない。英文自体の難易度は例年並みなもので、普段からセンター模試または過去問等で時間配分を考えつつ解く練習を積んでいけば、十分対処のできる問題となっている。

### 第 1 問

今年度(平成 30 年度) ※《 》内は平成 29 年度の配点

A(発音問題):3 問 B(アクセント問題):4 問 [配点 14 《同じ》]

### 第 2 問

今年度(平成 30 年度)

A(文法・語法):10 問 B(整序英作文[対話形式]):3 問[マーク数 6] C(対話文):3 問 [配点 47 《44》]

### 第 3 問

今年度(平成 30 年度)

A(不要な文の選択):3 問[マーク数 3] B(意見の要約):1 問[マーク数 3] [配点 33 《41》]

### 第 4 問

今年度(平成 30 年度)

A(グラフ[表]と英文の読み取り):4 問[マーク数 4] B(広告情報の読み取り):4 問[マーク数 4] [配点 40 《35》]

### 第 5 問

今年度(平成 30 年度)

(日誌の抜粋に関する問題):5 問[マーク数 5] [配点 30 《同じ》]

昨年度に引き続き物語の内容を読み取る問題。

## 第6問

今年度(平成30年度)

A(長文読解): 5問[マーク数5] B(Aの長文の各パラグラフの要約を選択)  
: 1問[マーク数4] [配点36《同じ》]

### ○対策、解説・解答

限られたスペースなので、今回は特に新高2、3年生が、比較的短期に対策を立てられる第1問、第2問、第3問についての対策アドバイス、解答・解説を詳しく行う。(第4、5、6問については選択肢の和訳等にとどめる。)

### 第1問

#### 【対策アドバイス】

発音、アクセントの知識を問う問題。難易度は例年通りと言えるが、アクセント位置がずれてカタカナ語化した英単語はセンター試験では毎年のように出題されるので、簡単だと思っているカタカナ語でも、間違っ<sup>て</sup>アクセント位置を覚えてはいないかのチェックをしていくことが必要。それ以外は普段の授業で何度か解説・演習をした発音・アクセントのルールを踏まえれば、かなりの正答率が見込める。したがって、この範囲が苦手な生徒は、出題された単語の発音・アクセントの確認は当然のことだが、基本的な発音、アクセントのルール(この範囲の学習を希望する場合は担当講師もしくは大学受験科の講師に相談してください。)を早めに学習しておくことが重要となる。

#### 【解答・解説】

A 次の問い(問1～3)において、下線部の発音がほかの三つと異なるものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1 ① commit            ② convince            ③ insist            ④ precise

<①, ②, ③の“t”はすべて[i]。④「正確な、精密な」の“t”は[ai]。>

問2 ① helped            ② laughed            ③ poured            ④ searched

<①, ②, ④の“ed”は[t], ③「注ぐ、土砂降りになる」の“ed”は[d]。>

問3 ① bird            ② hard            ③ journey            ④ work

<①, ③, ④の下線部は[ə], ②の下線部は[ɑ:]>

B 次の問い(問1～4)において、与えられた語と第一アクセント(第一強勢)の位置がほかの三つと異なるものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1

- ① **advance**                      ② **danger**                      ③ **engine**                      ④ **limit**

<①advance(前へ進む、進める) / ②danger(危険) / ③engine(エンジン) / ④limit(制限する)>

問2

- ① **deposit**                      ② **founda**tion****                      ③ **opinion**                      ④ **register**

<①deposit(預ける) / ②**foundation**(基礎、土台、設立)は【1つ前ルールをつづり(□のつづりの1つ前の母音にアクセント)】 ■ **-cian / gion / sion / tion / stion** に当てはまる語 / ③**opinion**(意見)はカタカナ語化した語 / ④**register**(登録、登録する、店舗などのレジ[= cash register, cahier])はカタカナ語化しつつあり、しかも間違ったアクセント位置で覚えられているので要注意。>

問3

- ① **agency**                      ② **frequently**                      ③ **introduce**                      ④ **officer**

<①agency(代理店、《政府の》機関) / ②**frequently**(頻繁に) / ③**introduce**(紹介をする、導入する) / ④**officer**(役人、警官、将校)>

問4

- ① **championship**                      ② **delivery**                      ③ **relatively**                      ④ **supermarket**

<①**championship**(優勝の地位) / ②**delivery**(配達) / ③**relatively** ※**relative** ⇒【2つ前ルールをつづり】 ■ **-短母音-tive** このルールが当てはまる語は他に **alternative**, **executive** がある。 / ④**supermarket**(スーパーマーケット)もカタカナ語化し、日本語ではアクセント位置が異なるので注意。>

## 第2問

### 【対策アドバイス】

A、B、Cの三部構成で、それぞれ文法・語法、整序英作文、対話文の知識と力を試す問題になっている。

新高3生[新高2生]で今年のセンター試験にチャレンジしてこの第2問に苦戦した生徒は、夏期講習会に入るまでに、ぜひとも英単語はターゲットであれば1900まで[新高2生は)見出し語で800前後まで]の暗記を終了してもらいたい(これでもかなり遅いペース)。また、授業で出来なかった英文法の範囲などに関しては自分から積極的に、①持ってい

る問題集で該当範囲を解いてみたり、②同じプリントを利用して復習後に少し時間をおいてから再テストをしたり、③よく間違えるものに関しては英文を丸ごとノートなどに書き出して暗記した上で、講師に再テストを求めるなど、積極的、攻撃的な学習を開始しよう。

## 【解答・解説】

A 次の問い(問1～10)の **8** ～ **17** に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。ただし、**15** ～ **17** については、( A )と( B )に入れるのに最も適当な組合せを選べ。

問1 Jeff didn't accept the job offer because of the **8** salary.

- ① cheap                      ② inexpensive                      ③ low                      ④ with

<【形容詞】給料の「多い、少ない」はそれぞれ“high [または large]”と“low [または small]”となる。「ジェフは給料が少な  
いためにその仕事の依頼を受け入れなかった。」>

問2 Brenda went **9** to get something to drink.

- ① at downstairs                      ② downstairs  
③ the downstairs                      ④ to downstairs

<【副詞】 downstairs: 副詞 下の階へ / downstairs は副詞なので前置詞の“at”や“to”は不要。「ブレンダ  
は何か飲み物を取るために下の階へ行った。」>

問3 After I injured my elbow, I had to quit **10** for my school's badminton team.

- ① playing                      ② to be playing                      ③ to have played ④ to play

<【動名詞を目的語に取る動詞】 quit ~ing: ~するのをやめる「ひじのけがをした後、私は学校のバドミントンのチー  
ムで競技することをやめなければならなかった。」>

問4 It's **11** my understanding why he decided to buy such an old car.

- ① against                      ② behind                      ③ beneath                      ④ beyond

<【否定(not を用いない否定表現)】 be beyond + 能力・作業など: 能力・作業など できない「なぜ彼がそ  
んなに古い自動車を買うことに決めたのかは私にはわからない。」>

問5 Nicole **12** novel for about seven years when she won the national novel contest.

- ① had been writing                      ② has been writing  
③ has written                      ④ is writing

<【時制(大過去)】“Nicole ... for seven years”(ニコルは7年間...していた)のは“when she won ...”(彼女  
が...したとき)よりも前の話なので「過去完了進行形」を選択する。「ニコルが全国小説コンテストで優勝したとき、  
彼女は7年間小説を書いていた(7年間小説を書き続けていてニコルは全国小説コンテストに優勝した)。」>

問6 Our boss was sick at home, so we did 13 we thought was needed to finish the project.

- ① how                      ② that                      ③ what                      ④ which

<【関係代名詞(先行詞を含む関係代名詞の what)】 what S V: SV するもの、SV すること / what S think [believe / suppose] ...: Sが...すると思うこと「私たちの上司が病気で家にいたので、私たちはそのプロジェクトを終わらせるのに必要だと私たちが思ったことをした。」>

問7 14 I didn't notice it, but there was a huge spider in the bathroom.

- ① At first                      ② Beginning                      ③ Besides                      ④ Firstly

<【頻出熟語】 at first: 初めのうち「初めのうち私は気付かなかったが、風呂場(バスルーム)には巨大なクモがいた。」>

問8 Rafael ( A ) a pair of swallows ( B ) a nest in the tree in front of the house. 15

- ① A: looked B: making                      ② A: looked B: to make
- ③ A: saw B: making                      ④ A: saw B: to make

<【SVOC(知覚動詞)】 see O 現在分詞: Oが現在分詞しているところを見る[目にする]「ラファエルは一つがいのツバメが家の前の木に巣を作っているのを見た。」>

問9 It ( A ) be long ( B ) the plum blossoms come out. They may even bloom this coming weekend. 16

- ① A: should B: before                      ② A: should B: enough
- ③ A: shouldn't B: before                      ④ A: shouldn't B: enough

<【時制 + 助動詞】“It won't be long before ...”(まもなく...するだろう。)の“won't”が“...するはずだ”を意味する“shouldn't”と入れ替わった文。「梅の花は間もなく咲くはずだ。今週末にでも咲くかもしれない。」>

問10 Melissa said she ( A ) rather go snowboarding next weekend ( B ) go ice-skating. 17

- ① A: could B: than                      ② A: could B: to
- ③ A: would B: than                      ④ A: would B: to

<【助動詞(助動詞を用いた構文)】 would rather A than B: BするよりもむしろAしたい「メリッサは来週の週末はアイススケートをしに行くよりもむしろスノーボードをしに行きたいと行った。」>

B 次の問い(問1～3)において、それぞれ下の①～⑥の語句を並べかえて空所を補い、最も適当な文を完成させよ。解答は18～23に入れるものの番号のみを答えよ。[正解の選択肢の番号と整序英作文側の訳のみ]

問1

Student: What are we going to do with the Australian students after they arrive?

Teacher: The first night, we'll have a barbecue by the river so that you all [can] [get] [to] [know] [each] [other] quickly.

18 ③ 19 ②

<【頻出熟語 + 代名詞を含む表現】 get to ~: ~するようになる / each other: お互い「最初の夜には、君たち全員がお互いをすぐに知り合えるように、川べりでバーベキューをするつもりです。」>

問2

Bridget: How was your basketball season last year?

Toshi: I [was] [the second] [highest] [scorer] [on] [the team].

20 ④ 21 ②

<【比較】「僕はチームで2番目に多く点を取った選手だったんだ。」>

問3

Evan: I want to buy my first computer, but I don't know which one I should get.

Sam: Don't worry. Electronic stores always have experts available to give advice [to] [those] [who] [aren't] [familiar] [with] using computers.

22 ③ 23 ②

<【関係代名詞 + 頻出熟語】 those who ...: ...する人たち / be familiar with ~: ~に精通している「心配することはないよ。電気店では、コンピュータを使うのに精通していない人たちに助言をくれる専門家がいつでも利用できるよ。」>

C 次の問い(問1~3)の会話が最も適切なやりとりとなるように 24 ~ 26 を埋めるには、(A)と(B)をどのように選んで組み合わせればよいか、それぞれ下の①~⑧のうちから一つずつ選べ。[正解の選択肢の番号と訳のみ]

問1

シェリー: 来週の火曜日まで待てないわ。

リーサ: 今度の火曜に何があるの? (A)5時までに (B)忘れずに (A)それを出さ (A)なければならないよ。)

シェリー: 覚えてないの? 放課後にジャズコンサートがあるのよ。

リーサ: ほんとに? それ[ジャズコンサート]は (A)木曜日に (A)行われる と思っていた (B)けど、たぶん私の間違いね。

[英語の順](A)was going to be (A)on Thursday, (B)but maybe I'm wrong.

24 ②

<※(B)was planning to be は、主語がジャズコンサートではなくて「計画をしている」側の人間でなければならないので×>

問2

- トモヒロ: ケイシー、こんにちは。君が時間に間に合って嬉しいよ。僕らの(飛行機の)搭乗便はもうすぐ出発の予定だよ。
- ケイシー: バスを使わないように言ってくれてありがとう。(1日のうちの)これくらいの時間にこんなに道路が混むとは全く思ってなかったんだ。
- トモヒロ: 乗らなきゃならない飛行機があるときは、僕はいつも道路と電車の状況を調べてるんだ。
- ケイシー: 君にはとても助けられるよ。(B)君の忠告がなかったら (A)僕は[(B)電車に]乗ってなかっただろうね。
- [英語の順] (A)I wouldn't have taken (B)the train (B)without your suggestion.

25 ④

<【条件文(仮定法過去完了) + ifを用いない表現】 S + wouldn't have 過去分詞, without ~: ~なかったら Sは過去分詞していなかっただろう>

問3

- ホアン: 週末からの台風はかなり強かったよね。
- ナオ: そうね。それでもって私のクラブの福岡公園でのサッカーの試合は中止されたわ。
- ホアン: 天気が何を起こすかは決して予測できないね。
- ナオ: その通り。台風は静岡も通ったの？
- ホアン: うんそうだよ。(A)そういうわけで[だから]、(B)残念なことに (B)僕たちは富士山への旅行を中止しなければならなかったんだ。
- [英語の順](B)That's why (B)we had to cancel our trip to Mt. Fuji, (B)unfortunately.

26 ⑧

<【関係副詞】 That's why ...: そういうわけで...>

## 第3問

### 【対策アドバイス】

構成 A、B の二部となり昨年より設問が一つ減った(昨年までは A、B、C の三部)。2015 年度に「対話文中の下線部が引かれた語句の意味を推測する問題」だった A(「不要な文の選択」の問題)、B(「意見の要約」を選択する問題)ともに昨年度と同程度の難易度の問題っている。ターゲット 1900 レベルの英単語集で学習をしていたとすれば、理解できないような語句はほとんどない。したがってこの問題を解けないのは語彙力に原因があるのではなく解き方の問題となる。難関大ではこの設問の発展形が頻繁に出題されるので、語い力のみを利用するのではない解き方もセンターレベルで慣れておくことが重要。

### 【解答・解説】

下記の【解説】では、設問 A に関しては、正解を導き出すのに必要な部分と正解の選択肢の和訳のみを掲載する。**【解法】**を参考にして解き方を研究しよう。B に関しては正解の選択肢の和訳と正解を得るのに必要と思われる部分の訳のみを掲載する。

A 次の問い(問1～3)のパラグラフ(段落)には、まとまりをよくするために**取り除いた方がよい文**が一つある。取り除く文として最も適当なものを、それぞれ下線部①～④のうちから一つずつ選べ。

#### **【解法】**

- ① (全体またはパラグラフ単位での)主張・主題を把握
- ② ①の主張・主題に矛盾していたり、無関係な文を**取り除く文の候補**とする。
- ③ **取り除く文の候補**を抜かした前後の文が主題・主張に矛盾せずつながるようなら正解。

問1 

27	②
----	---

When you encounter unfamiliar things in a new environment, you may experience culture shock even in your own country. <新しい環境で見慣れないものに会おうと、あなたは自分自身の国内でさえカルチャーショックを経験する。> When Tsubasa started college life away from his family, everything seemed exciting and new to him, but then he began to feel unexpected anxiety about his surroundings. <ツバサが家族と離れて大学生活を始めたときは、彼にとっては全てがわくわくするよう



なもので新しかったが、それから彼は周りの環境に思いもよらない不安を感じ始めた。> ① He realized people sometimes misunderstood him because of his regional accent and expressions. <彼は彼の地方の訛り(なまり)と表現のために、人々がときどき彼のことを誤解することに気がついた。> ② He knew that his parents missed him very much because he was their only child. <彼は一人っ子だったので両親が彼がいなくて非常にさみしがっていることを知っていた。⇒彼の周囲の環境の話ではないので×> ③ He also noticed many of his classmates had learned various things in high school that he had never even heard of. <彼はまた、彼のクラスメートの多くが、彼が一度も耳にしたこともないような様々なことを高校時代に学んでいたことにも気がついた。> Everyone seemed smarter, more mature, and even more fashionable than he was. ④ He was afraid he was already too far behind in everything. However, it turned out that most of the other students had more or less the same feelings of anxiety he had. Now, he enjoys studying at college without such feelings.

問2 28 ③

Is the tomato a vegetable or a fruit? <トマトは野菜なのか果物なのか? >  
There was a U.S. court case on this issue in the 1890s. <1890年代にアメリカでこの問題に関する裁判の事例があった。> At the time, people had to pay taxes for importing vegetables, but not for importing fruits. <その当時、人々は野菜輸入には税金を支払わなければならなかったが、果物の輸入に対してはなかった。> Biologically, fruits develop from a part in the base of a flower and contain seeds. ① According to this scientific definition, tomatoes, as well as cucumbers, pumpkins, and green peppers, are fruits. <この科学的な定義によれば、トマトは、キュウリやカボチャ、それにピーマンと同様に果物だ。> ② Contrary to what science says, most people consider the tomato a vegetable and use it as a vegetable. <科学が言うことに反して、ほとんどの人々はトマトを野菜と見なし、それを野菜として使用する。> ③ For example, in some countries the tomato has been given names such as “golden

apple” and “love apple.” <例えば、トマトに「ゴールデン・アップル」とか「ラブ・アップル」といった名前が与えられている国もある。⇒トマトを野菜と見なしていることの例ではないので×> ④ Tomatoes are eaten cooked or raw as many vegetables are and not traditionally served for dessert like fruits. The court concluded that the tomato was a vegetable based on the simple fact that most people considered it a vegetable.

問3 29 ②

In response to the problem of the world’s growing demand for animal protein, a conference was held to discuss the various benefits of using insects as an alternative source of food to pigs, chickens, and cows. <動物性たんぱく質に対する世界で高まっている需要の問題に応じて、豚、ニワトリ、そして牛の代替食料源として昆虫を使用することの様々な利点を議論するために、会議が開かれた。> ① It isn’t well known, but insects are an extremely healthy food as they are full of protein, vitamins, and minerals. <よく知られていないが、昆虫は、たんぱく質、ビタミン、それにミネラル分がたっぷり入っているので、非常に健康的な食料だ。> ② Insects have been around for millions of years, living with the dinosaurs and then very early human beings. <昆虫は何百万年も存在していて、恐竜、それに非常に初期の人類とも生きていた。⇒食料源として昆虫を使用することの利点からは外れているので×> ③ Raising insects can be environmentally friendly as they neither take up much space, eat much food, nor release much greenhouse gas. <昆虫たちを育てるのは、昆虫がそれほど場所を取らず、あまりたくさん食料を食べず、多くの温熱効果ガスを放出もしないので、環境に優しいといえる。> ④ Most are able to survive with little water, making them an ideal alternative food for locations with severe water shortages. The evidence shows that there are many benefits of using insects as food. It just may take time to change people’s minds about eating them.

B 次の会話は、ある大学で映像制作の課題について学生たちが話し合いをして

いる場面の一部である。30～32に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

Jennifer: Let's get started. <さあ始めましょう。> We are supposed to create a film for a group project in our film-making class. <私たちは映像制作クラスのグループプロジェクトのために映画を作ることになっています。> As the group leader, I think the sooner we start, the better our movie will be. Does anyone have any ideas for our movie?

Michael: I do. I think many people watch movies to feel happier, so why don't we make something that can make people feel good? <僕はたくさんの人が気分がもっとよくなるために映画を観るとおもうんだ。だから、人がいい気分になるようなものを作らない?> Last year, one group of students in this class made a documentary about our university basketball team. <去年だけど、このクラスの生徒の一つのグループが僕たちの大学のバスケットボールチームについてのドキュメンタリーを作ったんだ。> They filmed interviews with players and their training many times over a period of three months. <彼らは選手たちとのインタビューやトレーニングを3ヵ月という期間に渡って何回も撮影したんだ。> For the audience, watching the documentary was a way of experiencing the hard work of the players, the friendships among the teammates from different backgrounds, the trust between the players and their coach, and finally the joy of their victory in the national tournament. <観客にとって、ドキュメンタリーを観るというのは、選手たちの熱心な練習や、異なった背景を持つチームメイト間の友情、選手たちとコーチとの間の信頼、それに最終的には全国大会での勝利の喜びを経験する方法だったんだ。> Their amazing story of triumph appealed to a wide audience and everyone involved in the film received lots of praise. <彼らの勝利の驚くべき物語は、幅広い観客層に訴えかけたし、映画に関わった全員がたくさんの賞賛を受けたんだ。> I would like to create a similar movie documenting people working hard and achieving their goals. <僕は一生懸命に努力をしてゴールを達成する人たちをドキュメントにする、似たような映画を作りたいと思うんだ。>

Jennifer: So, are saying that 30?①

① audiences enjoy watching stories of people achieving success <聴衆は成功を成し遂げた人の物語を見るのを楽しむ>

Kim: Filming star players or people who are successful sound

interesting, but may be difficult for ordinary people to identify themselves with the people in these extraordinary stories. <スター選手や成功した人たちを映像に撮るのは楽しそうだけれど、こういう特別な物語に普通の人たちが自分を重ね合わせるのは難しいかもしれないわ。> I think people feel more satisfied when they watch movies that they can connect with. <人々は自分たちが共感できるような映画を見たときにより満足すると思うわ。> That's the reason people like love stories. People like to imagine: "How would I get her attention?"; "How would I ask him out on a date?"; or "Where would we go on our first date?"

Mary: I agree. <同意ね。> People want to watch something on the screen that they imagine themselves doing because it's familiar to them. <人々は自分たちがしていると想像するようなものを見たがるのよ。だって馴染みがあるから。> And we can add a little suspense or excitement by asking the audience a "what if" question in an everyday setting. <それから私たちは聴衆たちに日常の状況の中で「もしこうだったら(どうする)」っていう質問を与えることで、少しばかりサスペンスやワクワク感を加えられるわ。> For example, what if we found a treasure map somewhere on campus? This could be the beginning of a nice, fun story, and it could make an exciting movie.

Jennifer: Kim and Mary, both of you think we should make a movie that 31 ③. <キムにメアリー、あなたたちはどちらも、平均的な人が自分のことのように思えるような状況のある映画をつくるべきだと思っているのね。>

③ has situations that the average person can relate to <平均的な人が自分のことのように思えるような状況のある>

Mary: Exactly. <その通り。>

Takeshi: But as a creative work, it should reflect the creator's unique vision, namely, an original way of looking at the world. <だけど、創造的な作品としては、制作者の独自の視点、すなわち他にはない世界の見方を反映するべきだよ。> A great movie usually reflects its director's creative vision in the story or in the way it is told. <偉大な映画はたいていその物語の中や、その語られ方で、監督の創造的な視点を反映しているんだ。> Remember, the audience wants to watch something novel, too. So, I think we need to think about what our original

perspective could be.

Alisa: Right. If we show something ordinary in an ordinary way, people might not be interested. <もし私たちが何か普通のを普通のやり方で見せたら、人々は興味を持たないかもしれないわ。> For example, we are just college students. Some of us are dependent on our parents for support, whereas others are living by themselves for the first time. Some of us come from small towns, and others from big cities. Some of us may feel uneasy about our careers. All of these things sound very ordinary and not really special. So, is it possible to show our world in a unique way that will appeal to the audience?

John: I think so. These things are not special separately, but the combination of all those thing together can make our work unique. I think that's what people would like to see: a movie that they can associate with but that is told from a unique perspective. <僕はそれが人々が見たい思うものだと考えるよ。彼らが自分に関係づけて考えられる映画なんだけど、独特の視点から語られる映画さ。>

Jennifer: Well, we have some different ideas about our film, but it sounds like everyone is saying that 32 ② is important when making our film.

④ thinking of audiences' preferences <聴衆の好みを考えること。>

Jennifer: OK. Let's discuss this in more depth. <これについてもっと深く議論しましょう。>

## 第4問

A グラフと英文から情報を正確に読み取る問題

### 解法

- ① 設問に目を通して、表のどの情報に関するものかを知る。
- ② 内容に関する問題でも表から得られる情報を最大限活用する; グラフのタイトルは英文全体の主題を指していることがほとんど(場合によっては英文を読む必要さえなくなる)。
- ③ 選択肢で全く当てはまらないものなどを消去していく。

問1 「文章によれば、33 ②なのでどの色を消費者がより好むかを理解するのは難しい。」 33 ②

※選択肢の間違っている部分(いわゆる消去の根拠)を□で囲んでいる。

① 色の好みは世代ごとに異なる。

② 消費者のお気に入りの色は製品ごとに異なる。<第一パラグラフの“because ...”以下に理由が述べられている。>

③ 製品のマーケティング責任者は最も人気のある色を選択する

④ 買い物中に消費者は様々な色の製品を購入する。

問2 「図(グラフ)1において、以下のどれを(A), (B), (C)および(D)が指しているか。」 34 ③

(A) Footwear ⇒ (第3パラグラフ 4行目以降の記述で上位2つが身につける製品であることが分かる。すでにグラフで最上位がClothingとなっているので、第2位の(A)を選択肢の中で③と④だけがFootwearとしていることから判断できる。) The top two products were both worn by the participants, and three lowest were all electronic devices.<上位2つの製品はどちらも(調査への)参加者たちの身につけられるもので、下位3つはすべて電機製品だった。>

(B) Bags ⇒ (第3パラグラフ 7行目以降の記述から、cellphonesの1つ上にあるのがbagsであることが分かる。)

(C) Cellphones ⇒ (第3パラグラフ 6行目以降で下位3つの製品中トップがcellphonesであることから判断できる。) A total of 36.4% of the participants placed importance on color for cellphones. This was the highest among the electronic products.<参加者の合計36.4%が携帯電話に対して色が重要とした。これは電気製品の中では最高位だった。>

(D) music players ⇒ ((A), (C), (B)の順番に解答が出るので、残りの(D)にはこれしか残らない。)

問3 「文章によれば、以下の文どれが正しいか。」 35 ②

① ドイツの業界では緑色は消費者に対して情熱を表すと考えている。[緑色が持つ意味は“nature, good luck, and health”] ⇒ ×

② ドイツの消費者は一つの色が複数の印象を含んでいると知覚している。

③ ドイツ人は、赤色の衣服よりも緑色の服を好むようだ。[第4パラグラフでは「赤色に様々な意味がある」と言っているだけ ⇒ ×]

④ ドイツの製品開発者たちは、その売れ行きを観察した後に製品のために(使う)1色を決める。[1色に決めるといった記述はない ⇒ ×]

問4 「最後のパラグラフにはどのようなトピック(話題)が続く可能性が最も高い

か。」 36 ④

最終パラグラフの最後の二つの文において、次のパラグラフの導入が行われているので明らか。“Therefore, it is necessary to consider the importance consumers in other parts of the world place on color in their choices of products. The next part of this passage will examine this topic.”(「それゆえ、世界の他の地域の消費者が、製品を選択する際に色に対して置く重要性を検討することが必要である。この文章のつぎのパートではこの話題を検証することになる。」) はっきりと「消費者」、「色の重要性」、「他の国々」について触れている④が正解(他国における消費者にとっての色の重要性)となる。

## B 広告の情報を正確に読み取る問題

**解法** 前提として、通常の読解問題同様、徹底的に消去の根拠となる部分を探すこと！

- ① 表などの細かい情報に入り込む前に、タイトルや最初の文章の部分にテーマなどが記述されていることが多いので見逃さないように注意すること。
- ② 案内、広告、メニュー中の「年齢、人数、金額、時間、期限、期間」など、数字に関する情報は細心の注意を払って読む(何に対しての数値なのかを場合によってはマークしながら読む)こと。
- ③ ※や Note(注)などの補足情報や但し書き(今年度の問題の場合は、“Children aged 10 to 15 are welcome to join their fathers in the Sunday Family Breakfast Course for \$100 per child.”のところなど)によって条件が変わることがあるので注意。
- ④ (今年度の問題を解くには不要だったが)簡単な加減(足し算、引き算)は普通にあると考えること。したがって、表などに乗っている数字がそのまま解答になることはむしろ少ないと疑ってかかること。

問1 「ラルフ・ベアリソンに Papa Bear Cooking School を始めさせる気にさせたのは何か。」 37 ④

※選択肢の間違っている部分(いわゆる消去の根拠)を□で囲んでいる。

- ① He knew his family and friends were jealous of his cooking skills.  
[「～に嫉妬していた」といった記述はない⇒×]

- ② He knew that fathers **were not interested** enough in cooking. [顧客対象とする父親たちに「興味がなかった」のであればそもそも料理教室を始める動機とはならない。⇒×]
- ③ He wanted to give fathers opportunities to become **professional cooks**. [「プロの」料理人を目指させるものではない。広告の文章の後半にある“under the guidance of professional cooks”につられるのを期待した選択肢⇒×]
- ④ He wanted to teach fathers to cook quick, delicious, and healthy meals.

問2 「トニーはフレンチ(料理)コースに参加するつもりで、提供されている割引のクーポンを利用するつもりだ。彼はまた教室からエプロンとタオルのセットを購入するつもりだ。合計で彼はいくら払うことになるだろうか。」 **38** ②

まず、フレンチ(料理)コース受講料が\$250 となり、そこから割引クーポンで10%、すなわち\$25 が引かれて\$ 225 となる。それにエプロンとタオルのセットの購入料金の\$50 が追加されるので\$ 275 となる。したがって②が正解となる。

問3 「エドは自分の家族のために彼が料理できる食べ物の種類を増やしたいと思っている。彼には週末や朝には時間がない。彼はどの料理コースを最も受講する可能性が高いか。」 **39** ③

- ③ 日本料理(コース) [週末が不可なので土曜日開講の“Chinese”は×。日曜日開講の“Sunday Family Breakfast”も同様に×。“Italian”は開講時間が朝なので×。]

問4 「広告は **40** ④を示唆している。」

- ① 12-year-old children can participate in the Sunday course **at no cost**. [“\*Children ... for \$100 per child.”と「子供一人あたり100ドル」と書かれている⇒×]
- ② Cooking Courses for Fathers will last **longer than three months**. [「全コース10週間」となっている。つまり3ヵ月未満⇒×]



- ③ Papa Bear Cooking School requires students to bring ingredients to classes. [“Fees include all ingredients (料金には全ての材料費が含まれる)”となっている。⇒×]
- ④ students at Papa Bear Cooking School can eat the food they cook [広告の“What to Bring”のところで“An empty stomach! (空いたお腹!)”となっているので、調理後に食べることが暗示されている。]

## 第5問

日誌の抜粋の内容を読み取る問題

### 解法

- ① 設問に目を通して、何が問われているかを先に把握するようにする。
- ② 登場人物、場所、時間の経過等に注意して日付ごと(パラグラフごと)に読む。全訳を求められているわけではないので、設問に関わりのある部分を重点的にピックアップして読む感覚でよい。
- ③ 選択肢を消去法で減らしていく。本文の選択肢で述べている内容に該当する本文の箇所があっても、当然のことながら正解とは限らない。×になる根拠を探すように努めること。
- ④ 物語でテーマや表題を問われた場合は物語の「オチ」(特に何かの謎が解けた場合や新しい情報が出てきた場合など)に注目すること。今年の問題の問1のように主人公の「目的」が問われた場合も、最初のパラグラフ(DAY 1)と最後のパラグラフ(「オチ」と言える部分)だけで正解は特定可能。

※DAY 1とDAY 19 および話しの「オチ」ともいえる DAY 40 に対してのみ英文と訳をつける。この 3 日分の日誌だけからでも、主人公が人間ではなく、タコに似た生物とすることが分かり、複数の設問に対する解答が半ば得られる。

### DAY 1

Our mission of scientific discovery continues, and there is something exciting to report. <私たちの科学的発見の任務は継続するが、報告すべき興味深いも

のがある。> **We may have finally found a planet capable of supporting life, but this planet seems to be different.**<私たちはついに生命を維持可能な惑星を発見したかもしれないのだが、この惑星は変わったもののように思われる。> **Its surface is mostly a blue liquid, though it is spotted with some green and brown parts, and some kind of white substance seems to be moving around the planet.**<その表面は、緑や茶色の斑点がついている部分もあり、何らかの種類の白い物質が惑星の周りを動いているように見えるが、主に青い液体である。>

### DAY 19

**Since we started our dive, we have seen many more unusual creatures.**<ダイブ[潜航]を開始してから私たちはずっと多くの奇妙な生物を目にしてきた。> **We were especially surprised to find one that looked very similar to us.**<私たちは、私たちに非常に似たもの[生物]を見つけて特に驚いた。> **The upper part of its body was round and soft.**<その(生物の)上半身は丸くて柔らかかった。> **Underneath that were two large eyes and several long arms.**<その下には2個の大きな目と何本かの長い腕があった。> **It escaped quickly, leaving a cloud of black substance.**<それは素早く逃げて、雲状の黒い物質を残していった。> **We don't know if it is the most intelligent life on this planet, but our expectations for new discoveries continue to grow.**<私たちはそれがこの惑星上で最も知的な生命かどうかは分からないが、私たちの新たな発見への期待感はずっと増すことをやめない。>

### DAY 40

**We silently floated up to the surface and then into the air.**<私たち静かに水面まで浮上し、それから空中に出た。> **Just as we were leaving the planet, we saw a lot of strange creatures on the dry areas.**<ちょうど私たちがその惑星を去ろうとしようとしたときに、乾燥した地域の上に数多くの奇妙な生物が見えた。> **What a shock!**<なんという驚きか！> **We, creatures living in liquid, had never imagined creatures like them!**<私たち、水中に生活する生物は、彼らのような生き物を一度も想像したことがなかったのだ。> **Floating safely in our ship's liquid, we realized that our common sense had led us to the wrong conclusion.**<私たちの宇宙船内の液体中で安全に浮かびながら、私たちは自分たちの常識のために誤った結論に至ってしまったことに気がついたのだ。>

問1 「その探検者たちの旅の目的は何だったのか。」③

※選択肢の間違っていている部分(いわゆる消去の根拠)を□で囲んでいる。

- ① その惑星上の知的生命を助けること
- ② 惑星を侵略して彼らの植民地を拡大すること
- ③ 彼らの故郷の惑星以外で生命を探すこと
- ④ 彼らの新しい宇宙船の性能を試験すること

問2 「探検者たちが宇宙からその惑星を観察したとき、彼らはそこにいる知的生命体は 42 ②だろうと想像した。」

※選択肢の間違っていている部分(いわゆる消去の根拠)を□で囲んでいる。

- ① 他者に対して攻撃的
- ② 進んだテクノロジーを持っている
- ③ 宇宙に何の関心もない
- ④ そこにもはや住んでいない

問3 「DAY 9 で使われている “reservations” という語は 43 ②に意味が最も近い。」

- ① (人と会う)約束
- ② 心配、懸念、関心 [直前の文の“Are the leaders of this planet hiding form us?(この惑星の指導者たちは私たちから身を隠しているのか。)”から「心配、懸念」といった気持ちを推測可能。]
- ③ 期待
- ④ 保護、防護

問4 「以下の中でどれが日誌の著者を最もよく描写しているか。」 44 ①

- ① タコに似た形状の存在 [DAY 19 に惑星上にいる似た生物の描写がある。]
- ② 他の惑星を探索している人間の科学者
- ③ 人間に似ている宇宙の生物
- ④ 知的な、腕のない平たい動物

問5 「探検者たちは、すべての知的な生命は 45 ③と、間違っ推測した。」

- ③ 何らかの種類の液体中に住んでいる

## 第6問

パラグラフごとの内容真偽と要約を選択する問題

各パラグラフの重要部分を中心に和訳しておく。

[第1パラグラフ]

History teaches us that technology and associated discoveries have changed how we understand the world.<歴史は私たちに、テクノロジーとそれに関連した発見が私たちの世界の理解のしかたを変えてきたかを教えてくれる。> Many technological devices provide additional range and power to our natural capacities, such as our five senses.<多くのテクノロジーを用いた装置が、私たちの五感のような生まれつきの能力に、追加された範囲や力を与えてくれる。> Among these devices, many enable us to see things that we cannot see with the naked eye.<これらの装置の中でも、多くのものが私たちに肉眼では見ることのできないものを見られるようにしてくれる。> This change from invisible to visible has led to tremendous growth in our comprehension of the world and has strongly influenced our ways of thinking.<この、不可視から可視へという変化は、私たちの世界に対する理解のものすごい成長という結果を生み、私たちのものの考え方に強い影響を与えてきた。>

[第2パラグラフ]

In the 17th century, a scientist noticed that by holding two lenses together in a certain way he could make an object appear larger.<17世紀に、ある科学者が、2つのレンズをあるやり方で一緒に持つと、物体をより大きく見えるようにすることができることに気づいた。> He used this technique to construct the first simple telescope.<彼はこの技術を用いて最初の簡単な望遠鏡を作った。> Using these archaic telescopes, early scientists were able to describe the surface of the Moon in detail and to see that Jupiter had at least four such satellites.<これらの古風な望遠鏡を用いることで、初期の科学者たちは月の表面を詳細に描くことができ、木星には少なくとも4個のそのような衛星があるのを見ることができた。> Since that time, people have developed various devices that expand our range of sight, thus revealing facts about the universe that lies beyond the Earth.<その時以来、人々は、私たちの目に見える範囲を拡大する様々な装置を開発してきて、それによって地球の外にある宇宙に関しての事実を見つけている。> The telescope continues to offer us new views concerning things beyond our immediate reach.<望遠鏡は私たちのすぐ手の届く範囲にはないものに関する新しい映像を提供し続

ける。>

[第3パラグラフ]

Later, the microscope was developed using principles similar to the telescope.<後になって、望遠鏡と似た原理を用いて顕微鏡が開発された。> The microscope allows us to study objects we normally cannot see because they are too small.<顕微鏡によって私たちは、あまりに小さすぎるために通常は見るできない物体を研究することができる。> Looking through a microscope opened up an entirely new world to scientists.<顕微鏡を覗き込むことで全く新しい世界が科学者たちに開けた。> 中略 When they saw these things, they became aware that some things that they had thought were whole and could not be divided, actually consisted of smaller components.<これらのものを見たとき、彼らは、(それまでは)ひとかたまりで分割が出来ないと彼らが思っていたものが、実際はより小さな部分から成り立っていることを知った。> 中略 These advances have altered our concepts regarding the composition of things in the world.<これらの進歩によって、世界にあるものの組成に関する私たちの考え方[概念]が変化した。>

>

[第4パラグラフ]

The invention of the camera also made the invisible world visible.<カメラの発明も、見えない世界を見えるようにした。> Some things change faster than we can see.<ものによっては私たちに見えるよりも速く変化するものがある。> The camera is a tool that gives us the power to freeze change at different points in time.<カメラは、時間の中での様々な時点での変化を凍結させる力を私たちに与える。> 中略 There are many other ways besides these in which the camera has changed our perceptions of the world.<これら以外にも、他の多くの点で、カメラは私たちの世界の認識を変えてきた。>

[第5パラグラフ]

In the late 19th century, machines that used the newly discovered X-rays revolutionized the way in which we looked at things.<19世紀後半に、新しく発見された X 線を用いた機械は、私たちのものの見方を革命的に変えた。> Rather than seeing only the surface of an object, we gained the ability to look into it or through it, bringing the inner elements of many things into our range of view.<物体の表面だけを見るだけでなく、私たちは、その中を見たり、それを通して見たりする能力を獲得し、多くのものの内部の(構成)要素を私たちの目に見える範囲に出した。> This capability

proved practical in the workplace, useful in laboratories and museums, and instructive in universities. <この能力は、仕事場で実用的、実験室や博物館では有用、そして大学では 中略 This use of X-rays brought new understandings and methods for diagnosis and treatment. <この X 線の使用によって、診断と治療のための新たな理解と方法が得られた。>

[第 6 パラグラフ]

Different technological devices have made it possible to observe things that we could not see with the naked eye. <様々な技術的な装置によって私たちが肉眼では見えなかったものを観察することが出来るようになってきた。> 中略 Just as the devices mentioned above have done, new devices will continue to impact our lives and change our ways of thinking in the future. <上述したような装置がしてきたように、新しい装置が将来に私たちの生活に影響を与え続け、私たちの考え方を変化させ続けるだろう。>

## A

問1 「パラグラフ(2)の、“archaic”に最も意味が近いのは以下のどれか？」 46

④

④ 原始的な

問2 「パラグラフ(3)によると、顕微鏡を用いることで人々は何を学んだか？」 47

②

② 物体がより小さなものから成り立っていた。

問3 「パラグラフ(4)によると、カメラによって私たちはなにができるか？」 48

①

① 時間の中の瞬間を正確にとらえること。

問4 「パラグラフ(5)によれば、X線はどのように使われるか？」 49 ①

① 体内で問題のある場所を発見するため(に用いられる)

問5 「この文章の主題は何か？」 50 ②

② テクノロジーの発達が私たちのものの考え方に影響を与える

## B

51 ④ 宇宙を見るためのレンズの利用

52 ② 小さなものの世界の探索

53 ③ 連続した変化の最中に瞬間を見る(こと)

54 ① ものの内部を調べる(こと)